

訪問介護報酬 引き下げ撤回！ 引き上げの再改定を早急に！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会令和7年第1回定例会は3月14日に閉会しました。日本共産党市議団は、市民の福祉向上につながる意見書を2件提案しました。今号は「訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」を紹介します。



千葉 敦 議員

日本共産党奥州市議団は、「訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」の発議案を提出し、千葉敦議員が登壇して提案者としての説明を行いました。（意見書全文は裏面に）

「厚生省は、訪問介護の経営状態が良いと判断」？ 公明党

公明党の阿部加代子議員は、「厚生労働省は、訪問介護の報酬が他のサービスに比べて経営状態が良いと判断し、報酬の適正化を図るために基本報酬を下

げる措置が取られた」と反対の討論を行いました。

4割の事業所が赤字、最大の原因は訪問時間の短時間化

瀬川貞清議員は次のように賛成討論を述べました。

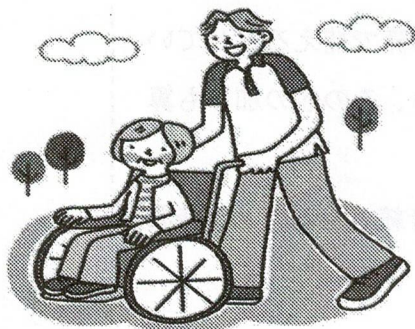
2024年4月に行われた介護報酬の改定は1・59%引き上げられましたが、訪問介護の基本報酬は2・3%引き下げられました。この間、政府は介護保険創立以来、サービスの削減を繰り返してきました。ヘルパーの賃金は、常勤で全産業平均より7万円近く低く、有効求人倍率は十数倍の人手不足、4割の事業所が赤字に陥っている。人手不足の最大の原因は、訪問時間の短時間化であり、介護保険の給付抑制を進める政府の姿勢こそが問題。介護報酬の引き上げの再改定を行うべきです。

同意意見書は、採決の結果、賛成16、反対11となり採択され、国に意見書が送付されました。

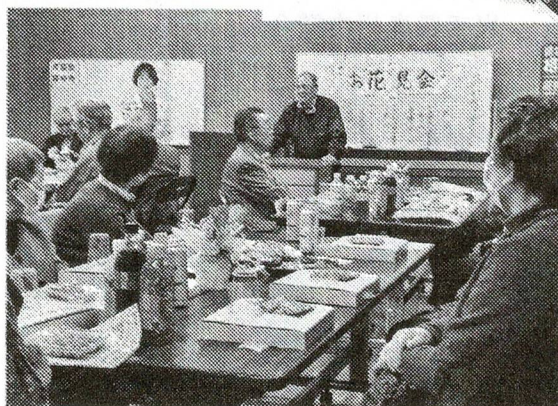
賛成…千葉和彦、小野寺満、高橋浩、中西秀俊、藤田慶則（以上奥和会）、菅野至、千葉康弘、廣野富男、及川佐、小野寺重（以上奥州みらい）、佐藤美雪、瀬川貞清、千葉敦、菅原明、今野裕文（以上日本共産党）、加藤清（無会派）

反対…門脇芳裕、高橋善行、東隆司（以上奥和会）、佐々木友美子（奥州みらい）、穴戸直美、小野優、及川春樹、高橋晋（以上新奥会）、飯坂一也、阿部加代子（以上公明党）、佐藤正典（無会派）

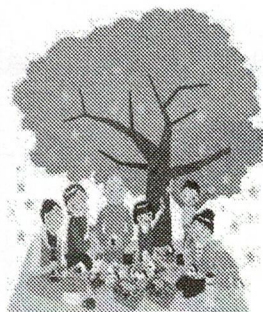
*議長は裁決には加わりません。



原 中



24名の参加で行われました。せがわ後援会代表委員の挨拶に続き、瀬川議員が市政報告。新医療センターやメイプルなど、他に瀬台野集落が虫食いの住宅化していることを取り上げ、問題提起。参加者から様々な意見がありました。初めて参加された方は「いつも応援しています」と発言。お花見を兼ねた華やかで、にぎやかなつどいとなりました。



つどい 多彩に開かれる♪
～20日～

江刺のつどいは、最初に田村委員長の「物価高からくらしを守る」緊急提案の記者会見（YouTube）を視聴。議会報告や新医療センター説明会等の報告。その後、お団子やノンアルコールビールでお花見会。

江 刺

工業団地の渋滞、ふるさと市場、訪問介護など多くの話題で盛り上がりしました。9名が参加しました。

